



曲面の鏡に映る自分の姿は、どんな風に見えるかな

賢治の森の探検隊

「花巻あそびフェスタ2006」は5月28日、童話村をメイン会場に行われました。ウォークラリーではファミリー、小学生の部に参加。賢治の心につれようをテーマに、自然とふれあい、賢治にちなんだクイズに答えながら、胡四王山周辺を巡る約2キロのコースを歩きました。

賢治の世界と自然にふれた後は、チャレンジサ・ゲームで交流。降り出した雨にも負けず、ロープ・ジャンプなどで思いつきり体を動かしました。

会場に広がる子どもたちの歓声と笑顔。みんなで楽しい1日を過ごしました。



旬の食材がいっぱいね。おいしい山菜を前「皆さん品定めです」



「えいっ。思ったより重たい杵にびっくり。でも一生懸命つきました」

さあ、まちへ出かけよう!

「とでびっくり市」は5月28日、花巻地域上町通りで開催されました。あいにくの雨天でしたが、お目当ての商品を求めようと、大勢の家族連れなどでにぎわいました。

通りの両側にずらりと並んだ地元旬の食材や海産物の数々に皆さん「びっくり。思い思いに面白い物を楽しみながら、おいしさを味わっていました」。

中心市街地のにぎわいづくりと活性化のため平成15年から始まったこの催しも今年で6回目。恒例イベントとしてすっかり定着しました。次回秋に開催予定。今度はどんな「びっくり」に出会えるか、楽しみですね。



つきたておもち、召し上がれ!

大 地域 スポット

編 郷土芸能の祭典 外川目地区郷土芸能フェスティバル

外川目地区では、伝統芸能の伝承活動に取り組み、日々、その技に磨きをかけています。

このフェスティバルでは、同地区の保存会が一堂に会し、郷土芸能の数々を披露します。皆さんも、普段は限られた場でしか見ることのできない郷土芸能にふれてみませんか。

- ▶日時 6月25日(日) 午前9時30分～午後3時
- ▶会場 外川目地区トレーニングセンター
- ▶出演団体 八木巻神楽保存会、合石神楽保存会、堅沢鹿踊り保存会、岩脇さんさ踊り保存会、八木巻さんさ踊り保存会
- ▶問い合わせ 教育委員会大迫事務所生涯学習文化課 ☎48-2222内線242



地域の皆さんが修練を重ね、受け継いでいる郷土芸能の数々が披露されます

神楽を堪能した3日間

5月26日、28日までの3日間、早池峰神楽鑑賞ツアーが行われ、首都圏を中心に27人の神楽ファンが大迫を訪れました。

早池峰神楽を現地で見たいという要望に応え、平成2年から始まった神楽ツアーも今年で27回目。今年度は、神楽のほかに、大償神楽の佐々木隆さんの講演とたんぼ会による大型紙芝居も上演され、参加者に喜ばれました。

神楽を鑑賞した後は、地元の人々が腕によりをかけて作った郷土料理を味わいながら神楽と懇親会。交流を深め、大迫の魅力を満喫した三日間でした。



岳神楽「権現舞」では権現様が参加者の頭をかじり、皆さんの健康を祈願しました

ち 無病息災を祈願 茅の輪くぐり

毎年、内川目地区の田中神社では、半年間、知らず知らず犯した罪や、心身の汚れを洗い清め、夏を乗り切るために夏越祭「茅の輪くぐり」が行われます。

茅の輪は、カヤを束ねた大きな輪のことです。神話の中で、蘇民将来の子が茅の輪を腰につけ、「蘇民将来の子孫」と唱えることで、疫病にかかることがないという神様のお告げにより始まったとされ、現在では、茅の輪をくぐることによって疫病よけになるといわれています。

この祭は、大償神楽の打ち鳴らしや祝詞などの神事に続いて、境内の鳥居の下に取り付けられた茅の輪を、参拝者が列を作ってくぐり、無病息災、家内安全を祈願するものです。皆さんも、茅の輪をくぐり、無病息災を祈願しませんか。

- ▶日時 6月30日(金) 午後6時から
- ▶場所 田中神社
- ▶問い合わせ 田中神社 宮司 山陰幸三 ☎48-2292



鳥居の下につけられた茅の輪を、参拝者は列になつてくぐります



自分のペースで体を動かし、自分の体力を測りました

楽しんで健康・仲間づくり

いしどりや版体験スポーツ教室は5月18日、石鳥谷中央公民館で行われました。スポーツを楽しむ、健康と仲間づくりを進めよう、当日は37人が参加。市体育指導委員が講師となつて、片足立ち、上体起こしなどの簡単な体力テストを行い、受講者一人ひとりの体力度合いを測定しました。続いて、約3キロのウォーキングを楽しみ、さわやかな汗を流しました。仲間と交流しながら、楽しく体を動かした皆さん。今後もいろいろなスポーツを通して健康づくりを進めていきます。